平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名　株式会社 エフ・ジェー・ネクスト　　上場取引所　東
コード番号　8935　URL　http://www.fjnext.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 肥田　幸春
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　経営企画室長　(氏名) 小池　一朗　TEL 03-6733-7711

四半期報告書提出予定日　平成23年8月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,659	28.4	614	―	585	―	211	―
23年3月期第1四半期	4,408	△33.2	△212	―	△237	―	△280	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　226百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△291百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.60	―
23年3月期第1四半期	△18.04	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	28,569	16,283	57.0
23年3月期	30,110	16,134	53.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　16,283百万円　23年3月期　16,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		5.00	―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,770	27.0	590	―	510	―	60	―	3.86
通期	29,570	25.8	2,080	33.1	1,910	33.9	760	12.2	48.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	16,098,250 株	23年3月期	16,098,250 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	535,400 株	23年3月期	535,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	15,562,850 株	23年3月期1Q	15,562,850 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、３月11日に発生した東日本大震災の影響により大きな打撃を受け、それまでの回復に向けた動きが途切れ、企業の生産活動や個人消費等の経済活動は落ち込み、先行き不透明な状況で推移しました。

不動産業界におきましては、震災に伴う事業者の販売自粛等により、2011年上半期（１～６月）の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年比9.8%減の１万8,198戸（株式会社不動産経済研究所調べ）にとどまりましたが、住宅ローン減税や住宅エコポイント等の住宅取得優遇政策等に支えられ、当初危惧されたほどの落ち込みはなく、平常時の動きに戻ってきております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、景気低迷に伴う所得環境の悪化の影響から力強さには欠けるものの、単身者を中心とした東京圏への継続的な人口流入を背景に賃貸需要は堅調であり、安定した収益が期待できる運用商品としての認知度の向上に低金利が後押しし、比較的底堅く推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用として多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充、ファミリーマンションの開発・販売にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第１四半期連結累計期間は、売上高56億59百万円（前年同四半期比28.4%増）、営業利益６億14百万円（前年同四半期は２億12百万円の損失）、経常利益５億85百万円（前年同四半期は２億37百万円の損失）、四半期純利益２億11百万円（前年同四半期は２億80百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション55戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高36億59百万円（193戸）、ファミリーマンション売上高６億99百万円（19戸）、その他収入７億41百万円となり、不動産開発事業の合計売上高は51億円（前年同四半期比27.2%増）、セグメント利益５億７百万円（前年同四半期は３億26百万円の損失）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加により、売上高３億72百万円（前年同四半期比16.5%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益１億30百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。

（建設事業）

建設事業は、売上高１億29百万円（前年同四半期は10百万円の売上高）、セグメント損失13百万円（前年同四半期は21百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、震災の影響により４月の来客数が低迷し、５月以降は回復したものの、売上高56百万円（前年同四半期比16.1%減）、セグメント損失16百万円（前年同四半期は19百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は262億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億８百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が７億27百万円、販売用不動産が６億34百万円、仕掛販売用不動産が１億87百万円減少したことによるものであります。固定資産は23億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が17百万円、有形固定資産が14百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、285億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億40百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は57億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億31百万円減少いたしました。これは主に１年内返済予定の長期借入金が９億95百万円、未払金が１億29百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が16億47百万円、未払法人税等が７億95百万円減少したことによるものであります。固定負債は65億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億58百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が３億27百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、122億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億89百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は162億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億49百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益２億11百万円であり、減少は剰余金の配当77百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は57.0％（前連結会計年度末は53.6％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、平成23年５月11日発表の予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,908,386	6,180,612
受取手形及び営業未収入金	453,191	564,759
有価証券	5,602	5,603
販売用不動産	8,716,845	8,082,631
仕掛販売用不動産	10,948,793	10,761,383
未成工事支出金	12,412	59,821
原材料及び貯蔵品	15,063	17,659
前渡金	13,100	14,700
繰延税金資産	357,072	275,783
その他	327,791	286,893
貸倒引当金	△4,269	△3,938
流動資産合計	27,753,989	26,245,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	826,624	826,683
減価償却累計額	△283,493	△295,884
建物及び構築物（純額）	543,131	530,799
土地	389,857	389,857
その他	231,653	232,633
減価償却累計額	△186,556	△190,008
その他（純額）	45,097	42,625
有形固定資産合計	978,086	963,282
無形固定資産	9,876	9,836
投資その他の資産		
投資有価証券	127,487	129,384
繰延税金資産	388,290	401,782
その他	863,473	829,963
貸倒引当金	△11,129	△10,956
投資その他の資産合計	1,368,122	1,350,173
固定資産合計	2,356,084	2,323,292
資産合計	30,110,074	28,569,200

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919,049	271,508
1年内返済予定の長期借入金	2,245,000	3,240,000
未払金	192,817	322,483
未払法人税等	1,044,247	248,406
未払消費税等	15,806	110,387
預り金	1,260,422	1,159,989
賞与引当金	109,283	32,700
その他	256,283	326,135
流動負債合計	7,042,910	5,711,610
固定負債		
長期借入金	4,357,900	4,030,600
退職給付引当金	208,306	218,728
役員退職慰労引当金	587,380	593,800
長期預り敷金保証金	1,658,262	1,618,144
長期預り金	107,750	102,275
その他	12,757	10,206
固定負債合計	6,932,356	6,573,754
負債合計	13,975,266	12,285,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858,970	1,858,970
資本剰余金	2,345,801	2,345,801
利益剰余金	12,179,513	12,313,326
自己株式	△232,351	△232,351
株主資本合計	16,151,934	16,285,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,126	△1,910
その他の包括利益累計額合計	△17,126	△1,910
純資産合計	16,134,807	16,283,835
負債純資産合計	30,110,074	28,569,200

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	4,408,376	5,659,306
売上原価	3,519,777	3,872,258
売上総利益	888,599	1,787,048
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	81,902	93,478
給料手当及び賞与	423,746	428,868
賞与引当金繰入額	28,294	30,081
退職給付費用	10,689	12,050
役員退職慰労引当金繰入額	6,390	6,420
その他	550,025	601,462
販売費及び一般管理費合計	1,101,047	1,172,360
営業利益又は営業損失（△）	△212,447	614,687
営業外収益		
受取利息	802	367
受取配当金	1,674	1,781
違約金収入	540	20
その他	2,602	4,242
営業外収益合計	5,619	6,411
営業外費用		
支払利息	30,461	35,526
その他	237	569
営業外費用合計	30,699	36,095
経常利益又は経常損失（△）	△237,527	585,003
特別損失		
固定資産除却損	33	－
投資有価証券評価損	－	24,950
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,933	－
特別損失合計	3,966	24,950
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△241,493	560,053
法人税、住民税及び事業税	47,558	291,052
法人税等調整額	△8,244	57,374
法人税等合計	39,314	348,426
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△280,808	211,626
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△280,808	211,626

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△280,808	211,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,904	15,215
その他の包括利益合計	△10,904	15,215
四半期包括利益	△291,712	226,842
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△291,712	226,842
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,010,736	319,838	10,282	67,519	4,408,376	－	4,408,376
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	60,160	168,354	2,238	230,752	△230,752	－
計	4,010,736	379,999	178,636	69,757	4,639,129	△230,752	4,408,376
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△326,470	130,946	△21,834	△19,342	△236,701	24,253	△212,447

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額24,253千円には、セグメント間取引消去6,000千円、たな卸資産及び固定資産の調整額18,253千円が含まれております。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	不動産開発事業	不動産管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,100,275	372,631	129,729	56,670	5,659,306	－	5,659,306
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,302	65,083	142,030	2,453	210,869	△210,869	－
計	5,101,578	437,714	271,760	59,123	5,870,176	△210,869	5,659,306
セグメント利益又はセグメント損失（△）	507,257	130,177	△13,900	△16,119	607,414	7,273	614,687

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額7,273千円には、セグメント間取引消去8,130千円、たな卸資産及び固定資産の調整額△856千円が含まれております。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。